

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 **新**ワンウェイプラスチック代替製品普及促進 事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 廃棄物対策課 資源循環推進係 電話番号：058-272-1111(内 2712)

E-mail：c11225@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,300千円 (前年度予算額： 0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,300	650	0	0	0	0	0	0	650
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

環境への負荷軽減が図られた循環型社会の形成推進にあたって、「3R」(リデュース、リユース、リサイクル)の推進が重要な課題の一つとなっている。

不適切な処理のため、陸上から海洋へのプラスチックごみが流出され、このままでは2050年までに魚の重量を上回るプラスチックが海洋環境に流出することが予想されるなど、世界規模での環境汚染が懸念されている。

地球規模での資源・廃棄物制約や海洋プラスチック問題への対応は、SDGs(持続可能な開発目標)でも求められているところである。

使い捨てプラスチックの容器包装廃棄量(一人当たり)が世界で2番目に多いと指摘されるなど、これまで以上にプラスチックの3Rを一層推進することが不可欠である。

(2) 事業内容

○プラスチック代替製品の普及促進

プラスチック製造事業者団体やぎふプラごみ削減モデルショップと連携

して、多くの事業者と一般県民にプラスチック代替製品を利用してもらうことを通じて、同製品の普及促進を図るもの。

(3) 県負担

地方消費者行政強化交付金を活用する。(国庫補助率 1 / 2)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	72	製造事業者との調整
需用費	1,042	普及啓発製品購入代、容器包装用紙代
役務費	186	郵便代
合計	1,300	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信
 - ② 美しく豊かな環境の保全・継承
- 第3次岐阜県廃棄物処理計画(令和3～12年度)
 - ※令和2年度末策定予定
 - ・プラスチックごみ対策の推進
- 岐阜県SDGs未来都市計画(令和2年8月)
 - ・プラスチックごみ対策の推進

(2) 国・他県の状況

令和元年6月に開催された主要20カ国・地域(G20)大阪サミットを前に、プラスチック資源循環戦略が策定された。

伊勢湾流域圏の三重県、愛知県ではプラスチックごみを含む海岸漂着物の発生抑制対策として、普及・啓発、調査、連携・協力を行っている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 「ぎふプラごみ削減モデルショップ」を活用して、多くの事業者と一般県民にプラスチック代替製品を利用してもらうことを通じて、同製品の普及促進を図りプラスチック代替製品の認知度を令和5年度までに80%とする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
プラスチック代替製品の認知度	0	/	0	80% (R5)	—

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

（前年度の成果）

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>使い捨てプラスチックの容器包装廃棄量（一人当たり）が世界で2番目に多いと指摘されるなど、プラスチックの3Rを一層推進することが不可欠である。陸域で発生したごみが河川等を経由して海域に流出し、海洋汚染を引き起こしていることから、内陸県においても事業の必要性が高い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>プラスチック代替製品を入手しやすく、利用しやすい環境を整備するため、「プラスチック代替製品使用の拡大」と「流通等への働きかけ」が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>事業者（飲食店等以外も含む。）団体、地域団体等を対象にモデル事業を実施し、事業者への認知度を高めるとともに、メーカーに対しプラスチック資源懇話会（仮称）を通じて利用者の意見を共有する。あわせて、入手しやすく、かつ利用しやすい環境整備のための調査を実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	